

科目分類	専門基礎分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	病態症候論演習	学 期	後 期	吉田真奈美（看護教員）
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目的 (ねらい)	解剖生理学・病態生理学・臨床病態論などに関する基礎知識に基づき、疾患枠を超えた複合的な症状・徴候の病態生理を理解し、実践的な看護に結びつけることができる。			
目標	1. 事例を読み解き、事例に生じている症状・徴候の病態生理を理解する。 2. 観察や判断の根拠として病態生理の知識を活用する必要性を理解する。 3. 病態生理を理解した上で、症状・徴候に対する看護の必要性と方法を導き出す。			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	オリエンテーション	病態症候論演習で何を学ぶか・学習の進め方	講義 /演習
	2	「体温調節」「炎症」にかかわる疾患から看護を考える	Episode 1 【疾患】胆管がん・胆管炎 【症状】発熱・腹部痛 【治療】解熱剤 内視鏡的逆行性胆管ドレナージ	
	3	「ガス交換」「凝固」にかかわる疾患から看護を考える	Episode 2 【疾患】大腿骨頭部骨折 【症状】呼吸困難 【治療】人工骨頭置換術・酸素吸入	講義 /演習
	4			
	5	「糖制御」「感染」「炎症」にかかわる疾患から看護を考える	Episode 3 【疾患】狭心症・高血圧・糖尿病 【症状】高血糖・創部発赤・微熱 【治療】インスリン療法・冠動脈バイパス術	講義 /演習
	6			
	7	「ガス交換」「炎症」「感染」にかかわる疾患から看護を考える	Episode 4 【疾患】COPD・細菌性肺炎 【症状】呼吸困難・発熱・湿性咳嗽 【治療】酸素吸入・抗菌剤	講義 /演習
	8			
	9	「水と電解質」「灌流」「ガス交換」にかかわる疾患から看護を考える	Episode 5 【疾患】慢性腎不全・尿毒症・心不全 【症状】呼吸困難・尿量低下・浮腫・倦怠感 【治療】酸素吸入・利尿剤・食事療法	講義 /演習
	10			
教科書	1. ナーシンググラフィカ 疾患の成り立ちと回復の促進①病態生理（メディカ出版） 2. 看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 第5版（学研）			
参考文献	1. 系統看護学講座 人体の構造と機能（医学書院） 2. 系統看護学講座 成人看護学…Episodeに応じた器官系統（医学書院）			
評価方法	製作物(学習ファイル) 60% 小テスト 40% ※注：積極的な出席と学習態度についても加味する。			
関連科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学	病態生理学 基礎薬理学	臨床病態論 微生物学	臨床検査

<b>自己学習に関する指針</b>	シラバスの「単元項目」「内容」を確認し、その授業を受けるにあたり必要な解剖生理学や臨床病態論に関する既習内容を復習しておく。復習した内容はルーズリーフノートに整理しファイリングする。 毎回、予習に関するタスクを課すので、それについても同様にファイリングしておくこと。
<b>その他の通知事項</b>	随時質問に応じます。